

ヘブル
人への
手紙

3

今日、 主に従おう

ヘブル人への手紙3章

救いの確信を深めるために

Shikaoichurch.com



I. イントロダクション

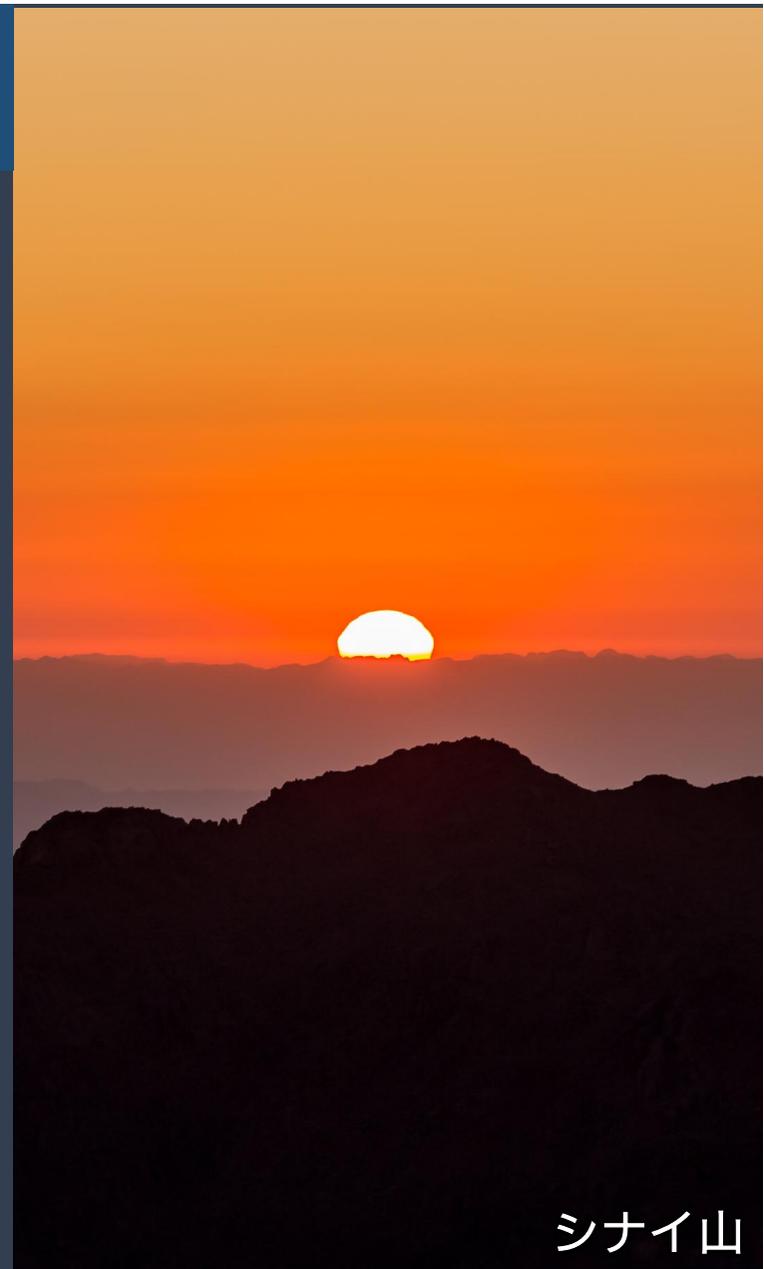
「救いの確信を深めるために」

イントロダクション

- I. 主イエスを知る 3:1~6
- II. 主イエスを信じる 3:7~11
- III. 今日、主に従う 3:12~6

まとめと適用

救いの確信を深めるために
今日、主に従おう!!



ヘブル人への手紙とは？

- **著者** …記載なし。諸説あり **パウロ?!**
…メシアニック・ジュー(第二世代?!)
- **宛先** …メシアニック・ジュー
ディアスポラ(離散のユダヤ人)
ペテロの手紙と同じ教会(小アジア?)
- **場所・時期** …エルサレム陥落(BC70)前
ローマ? **エペソ?!**
- **内容** …ユダヤ教に回帰しようとする人々へ
信仰の基本的内容の確認、促し。



前回・第2章の振り返り

- 救いの創始者であるイエスは、罪の贖いを完遂された。第一に、アブラハムの子孫を助け出すために。
- 復活したイエスは、昇天し、**大祭司**となった。
- 神であるイエスは、人となって死なれ、復活することで、神と人との完全な仲介者・**大祭司**となった。

受難を経たイエスこそ、私たちの救い主であり、大祭司



I. 主イエスを知る

ヘブル人への手紙3章1～6節

シナイ山

真理

モーセのように ヘブル3:1~2

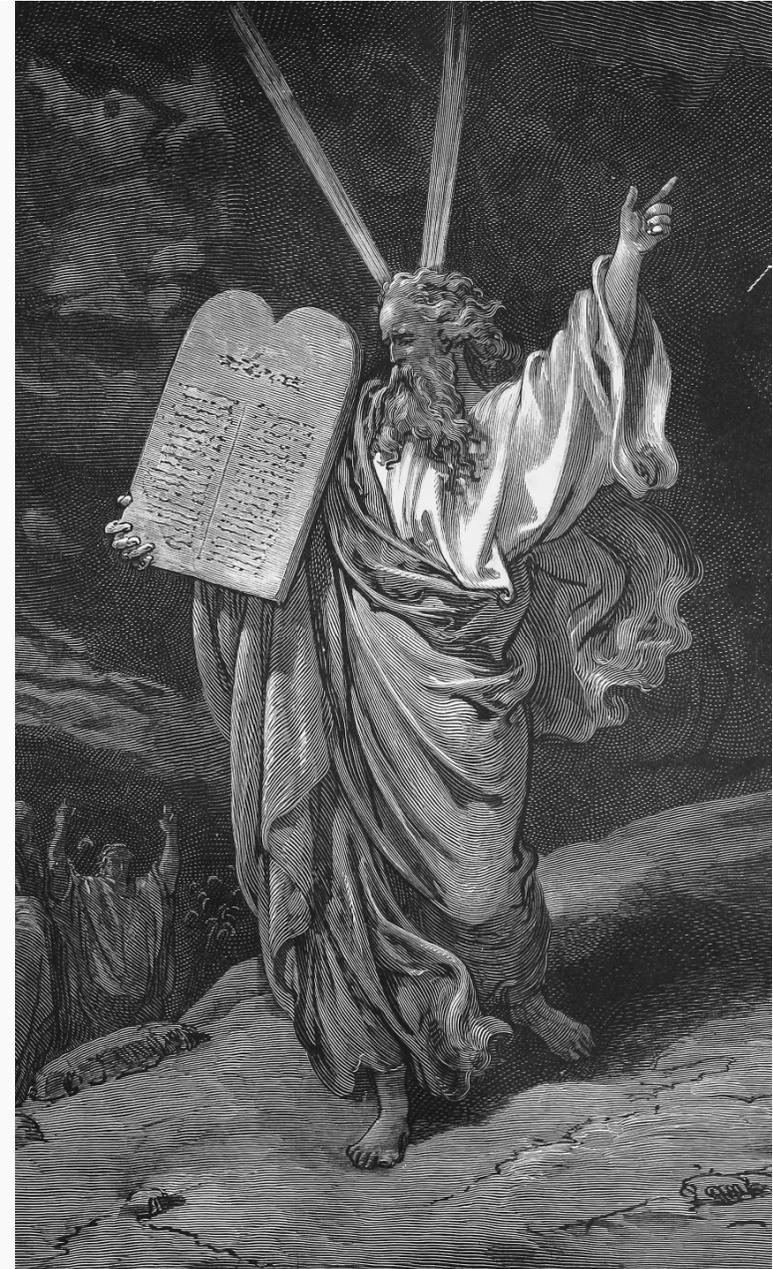
ですから、天の召しにあずかっている聖なる兄弟たち。私たちが告白する、使徒であり大祭司であるイエスのことを考えなさい。

モーセが神の家全体の中で忠実であったのと同様に、イエスはご自分を立てた方に対して忠実でした。

■二人の忠実な指導者

モーセは、神の家(イスラエル)の指導者

イエスは、主が立てられた全地の指導者



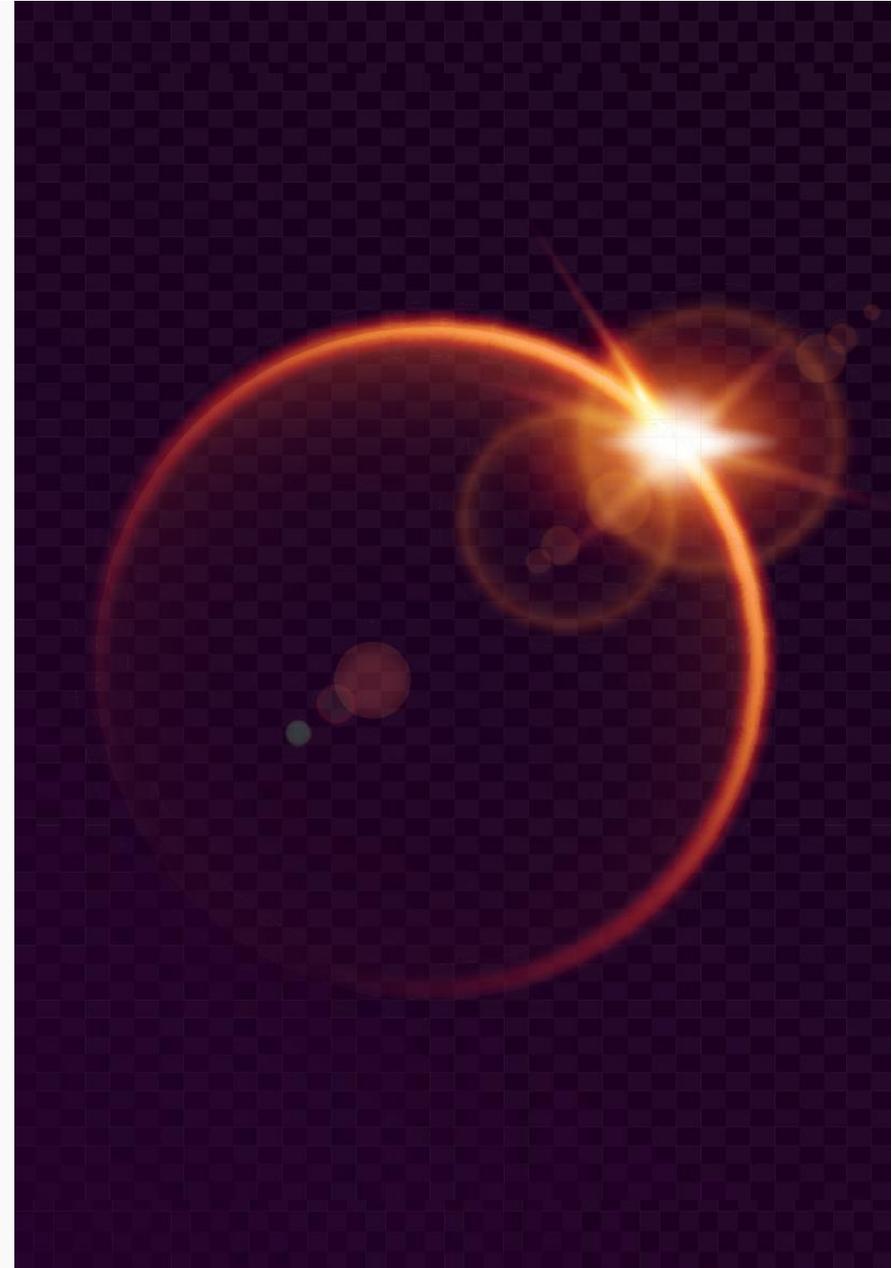
真理

モーセよりも ヘブル3:3~4

家よりも、家を建てる人が大いなる栄誉を持つと同じように、イエスはモーセよりも大いなる栄光を受けるにふさわしいとされました。

家はそれぞれだれかが建てるのですが、**すべてのものを造られたのは神です。**

- **天地と神の家を造られた神であるから、**
イエスは、モーセよりはるかに偉大



真理

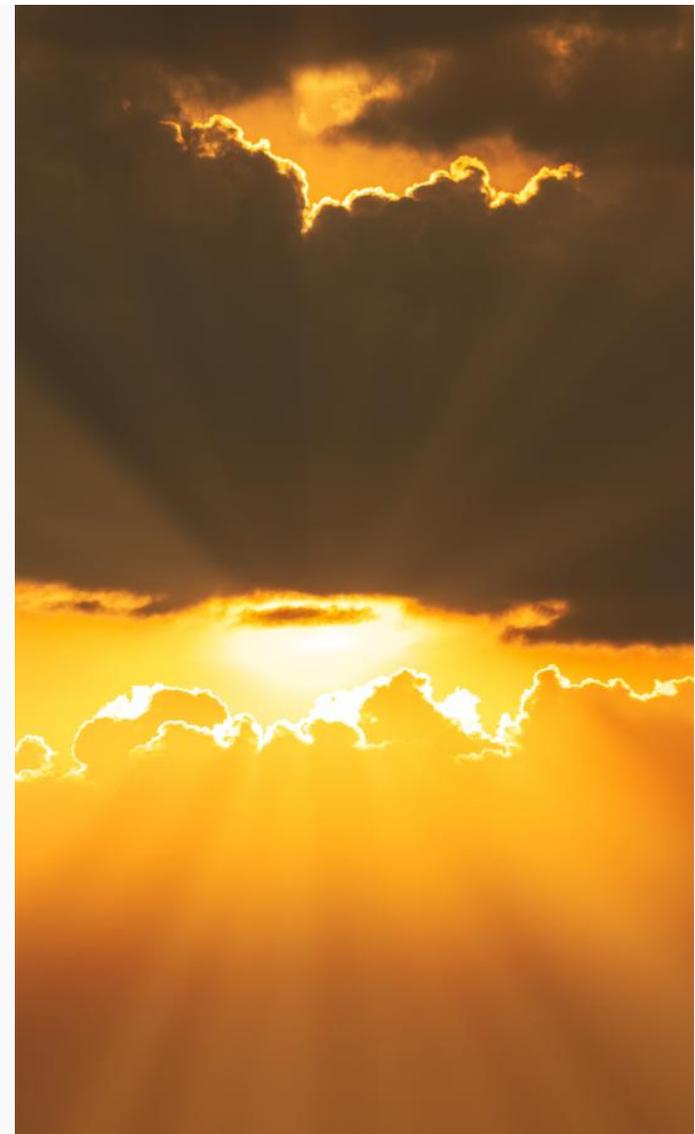
神の家を治める方 ヘブル3:5~6

モーセは、後に語られることを証しするために、神の家全体の中でもべとして忠実でした。

しかしキリストは、御子として神の家を治めることに忠実でした。そして、私たちが神の家です。もし確信と、希望による誇りを持ち続けさえすれば、そうなのです。

- モーセは、神の家に忠実に仕えたしもべ。
イエスは、神の家を忠実に治めた神の御子。
- 福音を信じた者は、神の家とされている。

イエスは、やがて神の国を永遠に治める王となる



1. 主イエスを知る

■ モーセとの比較で語られるイエス

モーセは、神の家(イスラエル)に仕えた忠実な指導者

イエスは、神の家を治めた神の御子、神の国の王となる方。

■ まず求められるのは、比類なき主イエスを知ること

主イエスは、私たちの罪のため十字架で死なれ、復活された。

大祭司となられたイエスは、神の国の王として再臨される。

救いの御業を成し遂げたイエスは、王として来られる



II. 主イエスを信じる

ヘブル人への手紙3章7～11節

シナイの荒野

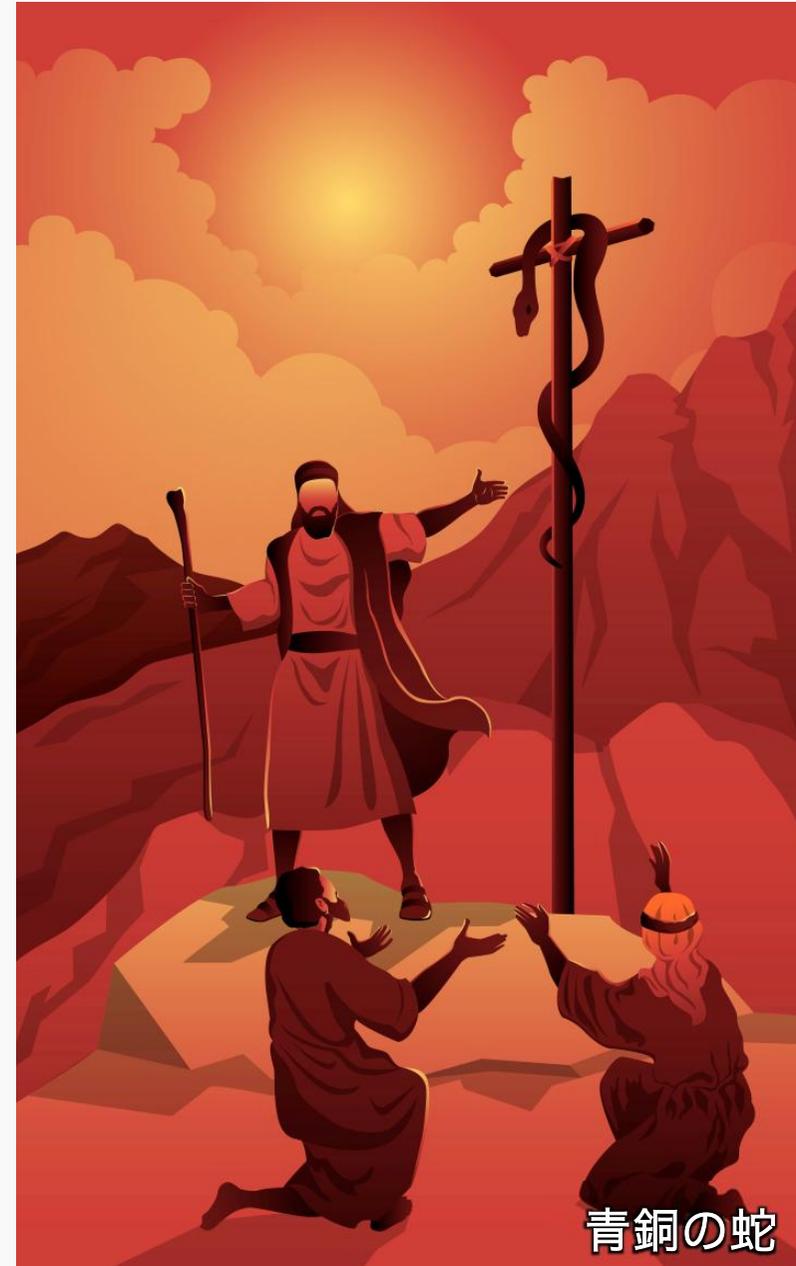
訓戒

心を頑なにするな 3:7～8

ですから、聖霊が言われるとおりです。
「今日、もし御声を聞くなら、あなたがたの心を頑なにしてはならない。荒野での試みの日に神に逆らったとき*のように。」

※引用：詩編95篇7～11節

*神に逆らったイスラエルが受けた裁きが、
荒野の四十年



青銅の蛇

訓戒

荒野の40年 ヘブル3:9～11

あなたがたの先祖はそこでわたしを試み、わたしを試し、四十年の間、わたしのわざを見た。

だから、わたしはその世代に憤って言った。
『彼らは常に心が迷っている。彼らはわたしの道を知らない。』

わたしは怒りをもって誓った。『彼らは決して、わたしの安息に入れない。』」

- 主への反逆ゆえ、この世代のイスラエルは、みな荒野で死に絶え、安息の約束の地に入ることはできなかった。



コラの裁き

引用元 **メシアの賛歌** 詩編95:1～2

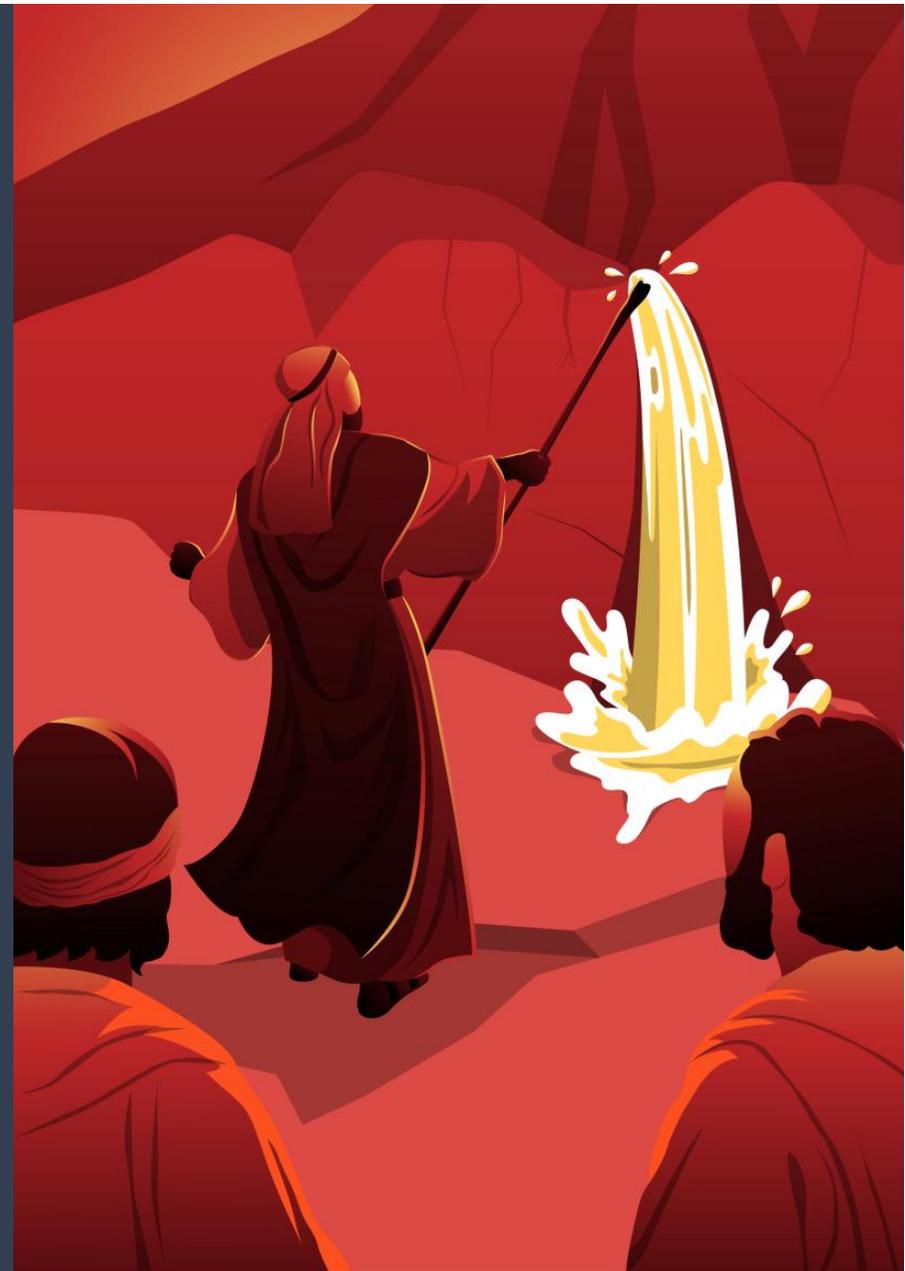
さあ【主】に向かって喜び歌おう。私
たちの救いの岩*に向かって喜び叫ぼう。

感謝をもって御前に進み 賛美をもっ
て主に喜び叫ぼう。

*モーセが打ち、水を湧き出した岩

→メシアを示す

メシアに心を開いた者は、
永遠の安息に招き入れられる



II. 主イエスを信じる

- 引用された詩編95篇は、「救いの岩なる」メシアの賛歌。
 - ➔ “主によって救われた”ことが大前提
- エジプトから救い出された神の民・イスラエル
 - ➔ かたくなになくなって、神の裁きを招いた
- 「かたくなになるな」 イスラエルと全人類に呼びかけられる

心を開いて、主イエスを信じ、信頼し続ける



Ⅲ. 今日、主に従う

ヘブル人への手紙3章12～19節

砂漠のオアシス

訓戒

今日 ヘブル3:12~13

兄弟たち。あなたがたのうちに、不信仰な悪い心になって、生ける神から離れる者がないように気をつけなさい。

「今日」と言われている間、日々互いに励まし合って、だれも罪に惑わされて頑なにならないようにしなさい。

■ 私たちに問われること

→ 今日、主に謙遜に従っているのか？

今日の連続が、信仰者の生涯



シナイ山

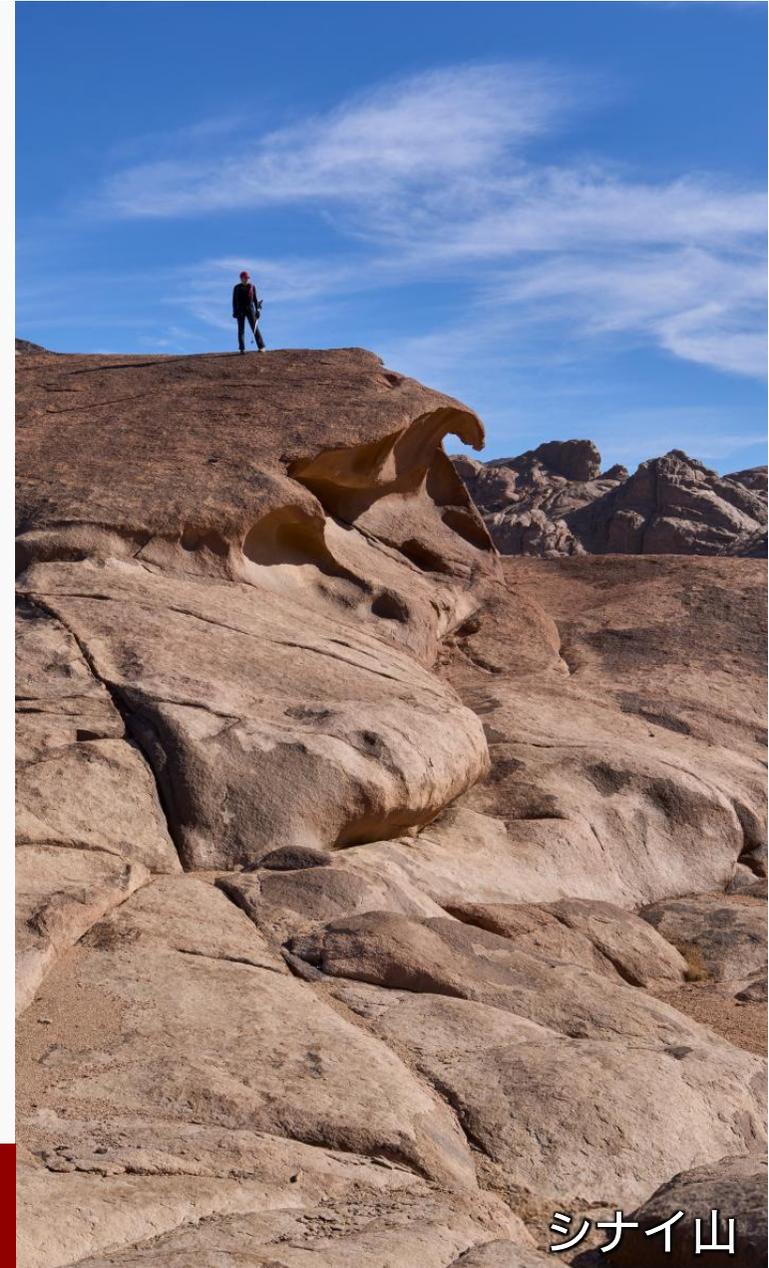
訓戒 今日、御声を聞くなら 3:14~15

私たちはキリストにあずかる者となっているのです。もし**最初の確信**を終わりまでしっかり保ちさえすれば、です。

「**今日**、もし御声を聞くなら、あなたがたの心を頑なにしてはならない。神に逆らったときのように」と言われているとおりです。

■ **救いの確信**は、過去の出来事ではなく、**今日、今この瞬間**の主への従順による。

日々の悔い改めこそ、信仰の確かな証し



シナイ山

訓戒

神の民の反抗 ヘブル3:16~17

では、聞いていながら反抗したのは、だれでしたか。モーセに率いられてエジプトを出た、すべての者たちではありませんか。

神が四十年の間、憤っておられたのは、だれに対してですか。罪を犯して、荒野に屍をさらした者たちに対してではありませんか。

- イスラエルは、神への反逆の罪ゆえ、神の怒りを受けて、40年を放浪、死した。

頑ななイスラエルが、私たちの反面教師



シナイの荒野

訓戒 不信仰のゆえ ヘブル3:18～19

また、神がご自分の安息に入らせないと誓われたのは、だれに対してですか。ほかでもない、従わなかった者たちに対してではありませんか。

このように、彼らが安息に入れなかったのは、不信仰のためであったことが分かります。

■ 今日、主に従っているのかどうか？

➔ 現在進行形でしか得られない救いの確信



今、この瞬間、主への従順を求められているのが、私たち

Ⅲ. 今日、主に従う

- イスラエルを反面教師に教えられる、**今日**、主に従う大切さ。
- 信じた者も罪を犯す。犯した罪には刈り取りがある。
 - ➔ **今日**、悔い改めつつ、歩んでいるか？
- 最後まで悔い改めない者は、永遠の滅びに至る
 - ➔ 本当は信じていなかった。救われてはいなかった

目には見えない救いを確信するために、今日、主に従う



III. まとめと適用

救いの確信を深めるために
今日、主に従おう

救いの確信を深める道筋

I. 主イエスを知る 3:1~6

➔ 救いの御業を成し遂げたイエスは、王として来られる

II. 主イエスを信じる 3:7~11

➔ 心を開いて、主イエスを信じ、信頼し続ける

III. 今日、主に従う 3:12~6

➔ 見えない救いを確信するために、今日、主に従う

道筋の土台・救いの確信について確認しておこう!!

■ 救いを失うことがあると主張する者が後を絶たないのはなぜ？

理由①…字面だけ見れば、救いを失ったととれる箇所がある

“彼らを決して、わたしの安息に入らせない”

救われたはずのイスラエルが救いを失った？

理由②…表面的には、信仰を失ったように見える人がいる

棄教した牧師。完全に教会から離れた熱心な信者。

■ 聖書の字面だけ、事柄の表面だけを見るなら、

確かに、信仰を失い、救いが取り去られているように見える

■ “主は思い直された(出32:14他)” → 神は心変わりする？

反証①…神は全知全能。はじめから終わりまで、すべてご存じ

反証②…神の義は完全。神は約束を絶対に守る。

神の義がなければ、すべてはむなしい。

反証③…“思い直された”とは、人間の視点に合わせた表現

動いているのは天か地か？ → 視点の違い

変わったのは人間の意識。人間視点では神が変化。

「キリストは聖なるものとされる人々を、一つのささげ物によって、永遠に全うされたのです。ヘブル人への手紙10:14」

- ① 神は、信じた者に、永遠の救いを約束されている
- ② 義なる神は、約束を破られることはない
- ③ 一度信じた者から、救いが失われることはない

■ 聖書にも、教会にも、信仰を失ったように見える人はいる。
その人は、元々信じていなかった。救いが失われることはない。

■ 神の永遠の約束に基づく救いは、決して失われることはない。

■ しかし、私たちの信仰の確信は、簡単に失われる。
未信者と不信仰に陥った人は、表面的には見分けがつかない。

■ 判断の大きな材料は、**悔い改めの実を結んでいるかどうか。**

好例) 失敗はしょっちゅうだが、すぐ悔い改めるRくん

3歩進んで2歩下がり…繰り返しの中での確かな成長。

悪例) 悔い改めなく、去って行ってしまった人

「悔い改めたのに赦されなかった」という嘘を重ねる人も

★ 救いの確信を深めるために ★

- 信仰者も罪を犯す。悔い改めが信仰生活の大前提（Ⅰヨハ1:9）
- 「かたくな」の反対が、「柔和」。主に従順で謙遜であること。
心が貧しい者。つまり、打ち砕かれ、悔い改めた者は、幸いだ。
- 私たちは、福音を信じて救われた後も罪を犯す。確信を失う。
悔い改めつつ、今日を歩む、その課程で確信は深められていく。

悔い改めつつ、今日を歩もう!!

てん とう つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください

わたし かみ こ しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

わたし つみ あがな じゅうじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

すく えいえん わたし かくしん かんたん うしな
この救いは永遠ですが、私たちの確信は簡単に失われます。

ないじゅう せいれい わたし つみ おし
内住されるご聖霊が、私たちの罪を教えてくださいます。

う くだ こころ しゅ みまえ いの
打ち砕かれた心で、主の御前に祈ります。

く あらた きょう しゅ したが しゅ しめい つか
悔い改めつつ、今日、主に従います。主の使命に遣わしてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」